

2023年度 地域IT人材育成事業 【島根県立浜田商業高等学校】

2023年度
地域IT人材育成事業

島根県立浜田商業高等学校

支援企業



対象学年・授業

3年生 情報処理科 / 総合実践（4単位）

目標

個人や企業等の顧客の考え・行動を深く捉えた上で、課題解決に必要なとなるサービスを提案することができ、それらを「IT」の技術を用いて解決することができる人材育成を目標としています。

基本方針

ICTの技術・知識に加え、身近な課題から新たなサービスを考察するプロセスを学びます。そして、考察したサービスを提案する実践的な授業を行います。地域社会・企業内外にある課題を発見し、自ら考え新たな提案を行うことができる起業家の卵を育てます。

Point 1

浜商 × ICT ×アントレプレナーシップ

浜田商業高校は、1965年創立の伝統ある石見部唯一の県立商業高校です。中でも、同校の情報処理科では、大きく変動する社会で地域社会のニーズに応えながら活躍できる次世代の人材育成を行うために、2016年度から「地域IT人材育成事業」に基づく授業が展開されています。実社会で用いられる最新技術等を取り入れて実践的に学習を進めています。本年度は、昨年度までの流れを踏襲した「課題解決型の授業」に加え、新たに「システム開発実践の授業」の2コースを設置し、それぞれのコースに分かれて学習に取り組みました。

Point 2

デザイン思考 & リーンローンチパッド

生徒たちの身近にある「困りごと」や「不の体験」を基に課題を発掘し、解決策のアイデアを考察してビジネスを生み出す方法を探りました。生徒が持ち寄った「困りごと」などをアイデア発想のきっかけとして発展させていきながら、『誰の、どんな困りごとを、どうやって解決するのか』を意識して最終的にビジネスを創り上げてもらいました。本事業ではアメリカのシリコンバレーで多く使用されているアイデア創出の方法の一つである「デザイン思考」と仮説検証による事業創造プログラムである「リーンローンチパッド」を取り入れています。また、3学期には本事業を通じて考え出したビジネスプランを発表する機会として、最終成果発表会を開催しました。実際に現場で活躍する投資家や企業の方をお招きして指導・助言を頂くと共にこれまでの成果を披露しました。高校生ならではの視点で大人もびっくりのビジネスアイデアが毎年生まれています。

Point 3

ノーコードツールを活用したシステム開発

本年度は新たに「システム開発実践の授業」が追加となりました。地域課題のテーマとして掲げられた『膨大なミツバチの観察記録の活用方法』について、リサーチをと協議を重ねてプロダクトのイメージを考えた後に、一般的な開発の流れ（ウォーターフォール）に沿って、設計～開発～テストの実施を行いました。システム開発には、iPadでも操作が可能なノーコードツールの「FilluterFlow」を選定し、Webブラウザで操作可能なシステムを完成させました。